

決算説明資料

2023年3月期 第3四半期

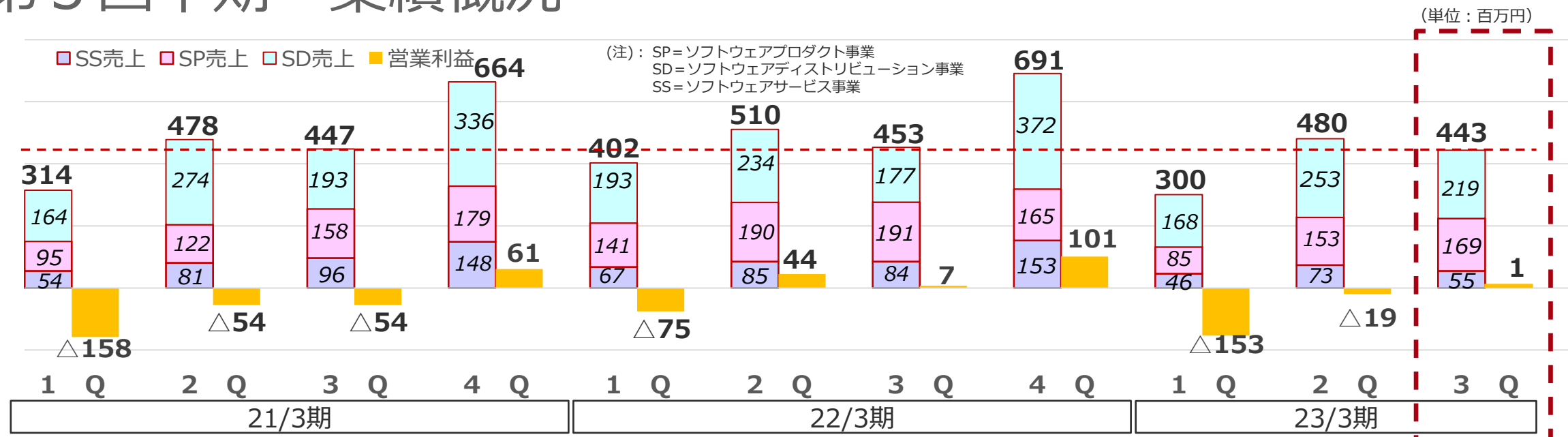
株式会社ユビキタスAI
代表取締役社長 長谷川 聡
2023年2月14日

Index

- 第3四半期業績 概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第3 四半期業績 概要

第3四半期 業績概況



- ・ コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢の影響により、売上高・営業利益ともに前年同期を下回り、コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期と同水準の売上高となる

- 連結売上高：1,225百万円（前年同期比：10.3%減）、連結営業損失：170百万円（前年同期営業損失：23百万円）

- セグメント別概況

ソフトウェア
プロダクト事業

売上高
営業損失

409百万円
44百万円

前年第2四半期においてセキュリティ関連製品の大口案件で売上・利益を計上したこと、及びデータベース関連製品の既存顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたことにより、売上高・営業利益ともに前年同期を下回る

ソフトウェア
ディストリビューション事業

売上高
営業損失

641百万円
120百万円

ソフトウェア開発・支援ツール関連売上が増加、新規案件の引き合い増等に加え、一部事業の移管もあり、売上高・営業利益ともに前年同期を上回る

ソフトウェア
サービス事業

売上高
営業損失

174百万円
5百万円

サプライチェーンへの影響による受託開発案件の期ズレ、車載機器関連のロイヤルティの減少により売上高・営業利益ともに前年同期を下回る

コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢による当社業績への影響

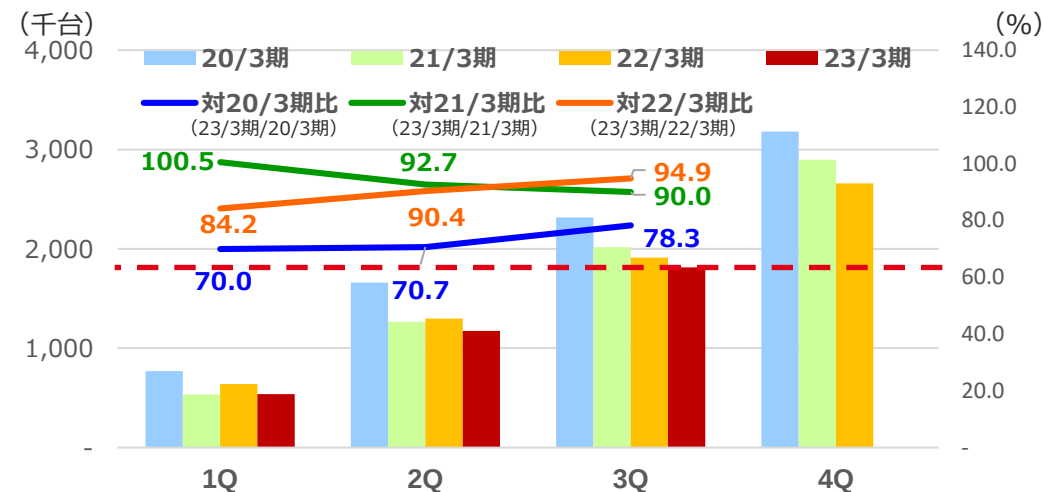
■ 車載機器関連

- 国内自動車販売台数は、当第3四半期は前四半期を上回るも、前年同期を下回り、依然として先行きは不透明
- 当社車載関連売上も、前年同期と同水準ながら、前四半期を下回る

■ 新規案件

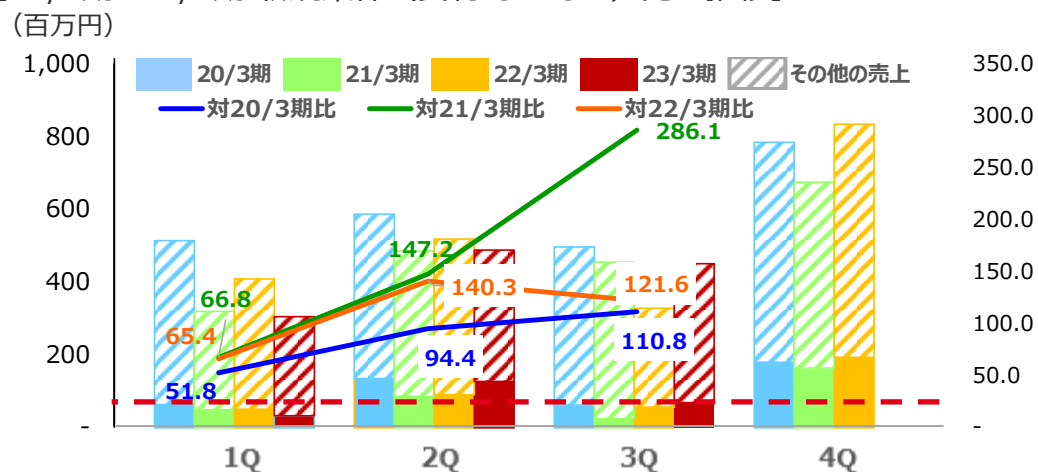
- 第1四半期は前年同期を下回ったものの、第2四半期に続き、当第3四半期では前年同期を上回り、コロナ禍前の20年3月期と同水準となる
- 新規問い合わせ・引き合いも増加基調

【20/3期~23/3期 自動車国内販売台数の推移】

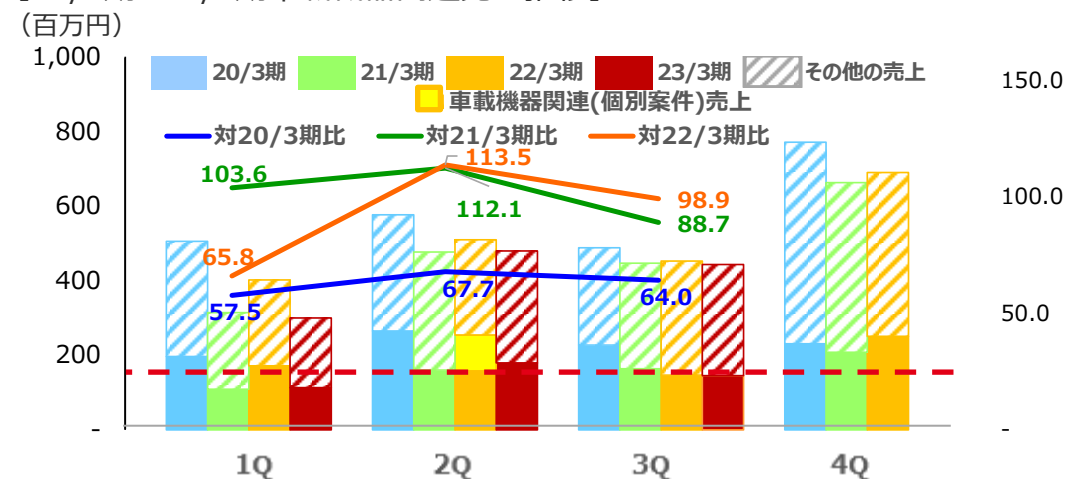


出典:一般社団法人 日本自動車販売協会連合会「新車・月別販売台数(登録車)」を基に作成

【20/3期~23/3期 新規案件（契約時一時金）売上推移】



【20/3期~23/3期車載機器関連売上推移】



前年同期比:セグメント及び製品分野別売上高

(単位:百万円)

セグメント	分野	23/3期 3Q (連結)	22/3期 3Q (連結)	増減率	20/3期 3Q (連結)	増減率
ソフトウェア プロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ&OS	87	140	△37.7	94	△7.8
	高 速 起 動	273	286	△4.8	311	△12.4
	デ ー タ ベ ー ス	48	96	△49.8	42	14.2
	小計	409	523	△21.9	449	△8.9
ソフトウェアディストリビューション事業		641	605	6.1	853	△24.8
ソフトウェアサービス事業		174	237	△26.4	270	△35.4
合計		1,225	1,366	△10.3	1,573	△22.1

前年同期比:セグメント別売上及び利益

(単位: 百万円)

		23/3期 3Q (連結)	22/3期 3Q (連結)	増減額	20/3期 3Q (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	409	523	△114	449	△40
	セグメント利益	△44	118	△163	66	△111
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	641	605	36	853	△212
	セグメント利益	△120	△183	63	※1 △107	△12
ソフトウェアサービス事業	売上高	174	237	△62	270	△95
	セグメント利益	△5	41	△47	※2 △49	44
合計	売上高	1,225	1,366	△141	1,573	△348
	セグメント利益	△170	△23	△147	※3 △90	△80

(注) ※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 79百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 77百万円を含めております。

※3 上記ののれんの償却額 157百万円を含めております。

前年同期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位:百万円)

		23/3期 3Q (連結)	22/3期 3Q (連結)	増減額	20/3期 3Q (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	409	523	△114	449	△40
	セグメント利益	△44	118	△163	66	△111
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	641	605	36	853	△212
	セグメント利益	△120	△183	63	※1 △27	△92
ソフトウェアサービス事業	売上高	174	237	△62	270	△95
	セグメント利益	△5	41	△47	※2 27	△33
合計	売上高	1,225	1,366	△141	1,573	△348
	セグメント利益	△170	△23	△147	※3 66	△237

(注) 23/3期との比較利便性を考慮し、

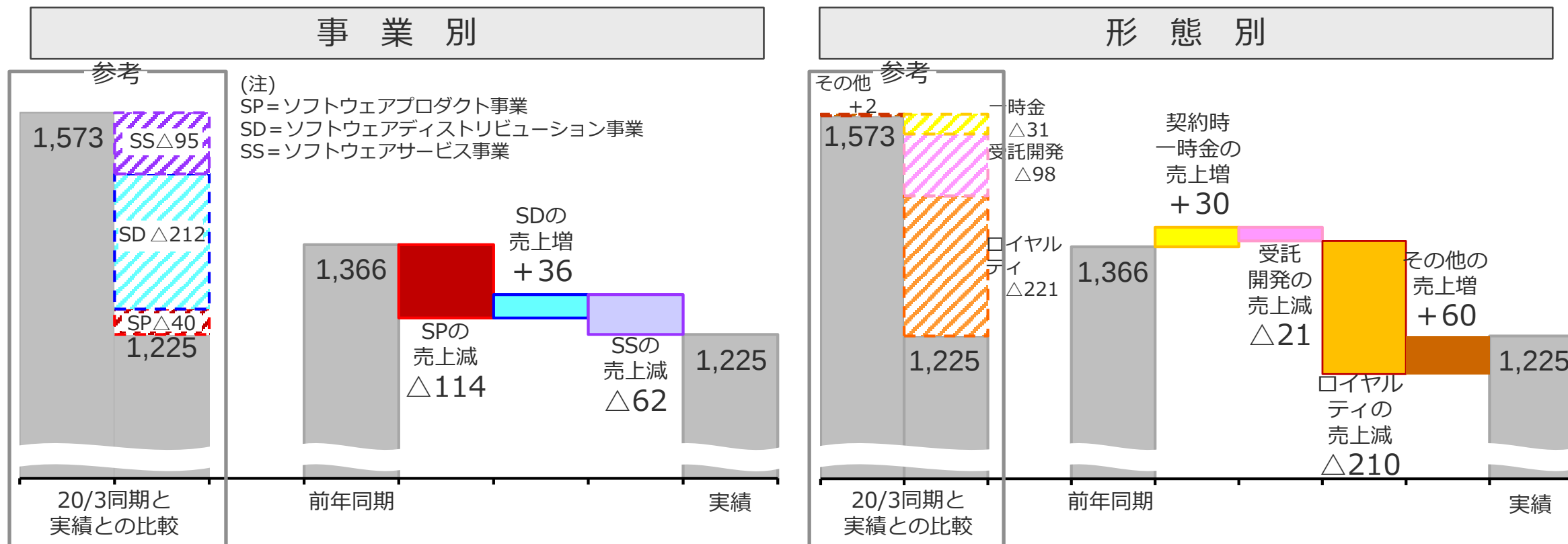
※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 79百万円を含めておりません。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 77百万円を含めておりません。

※3 上記ののれんの償却額 157百万円を含めておりません。

前年同期比：売上高

(単位：百万円)

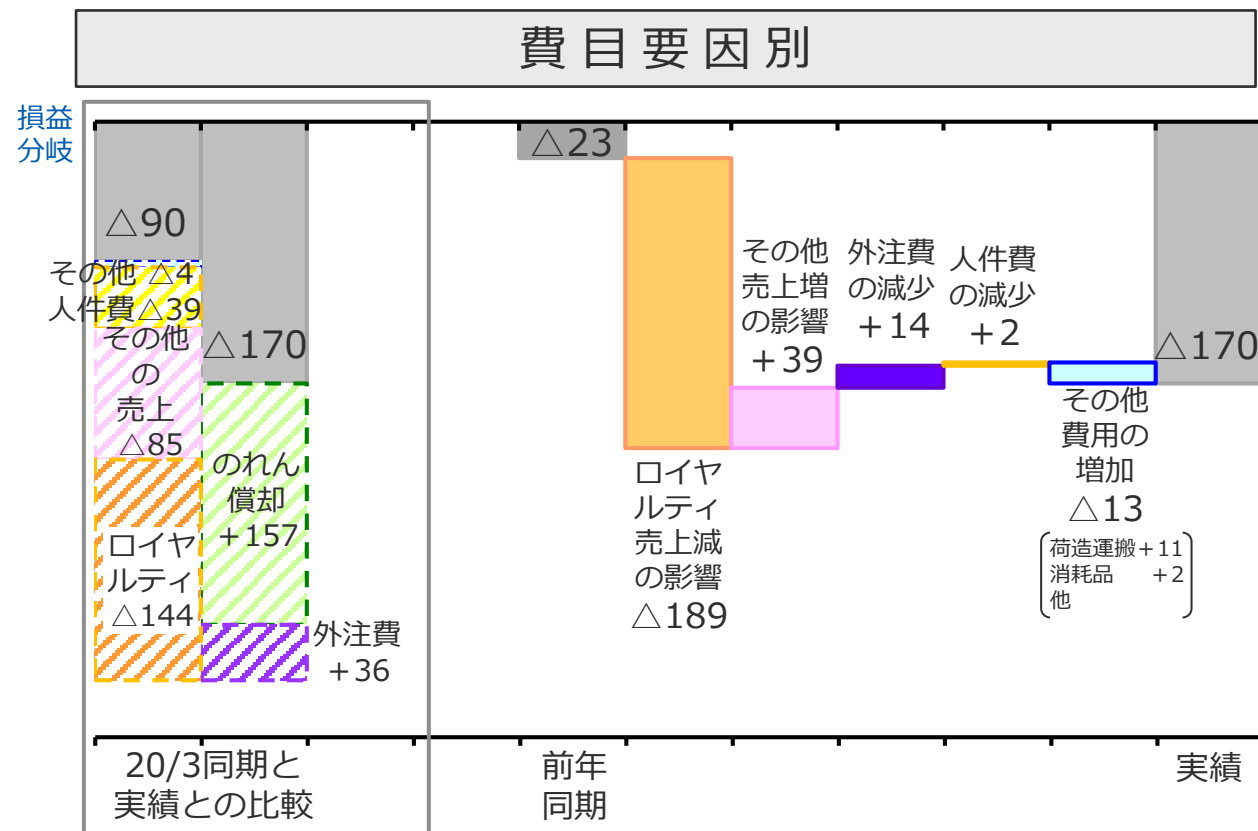
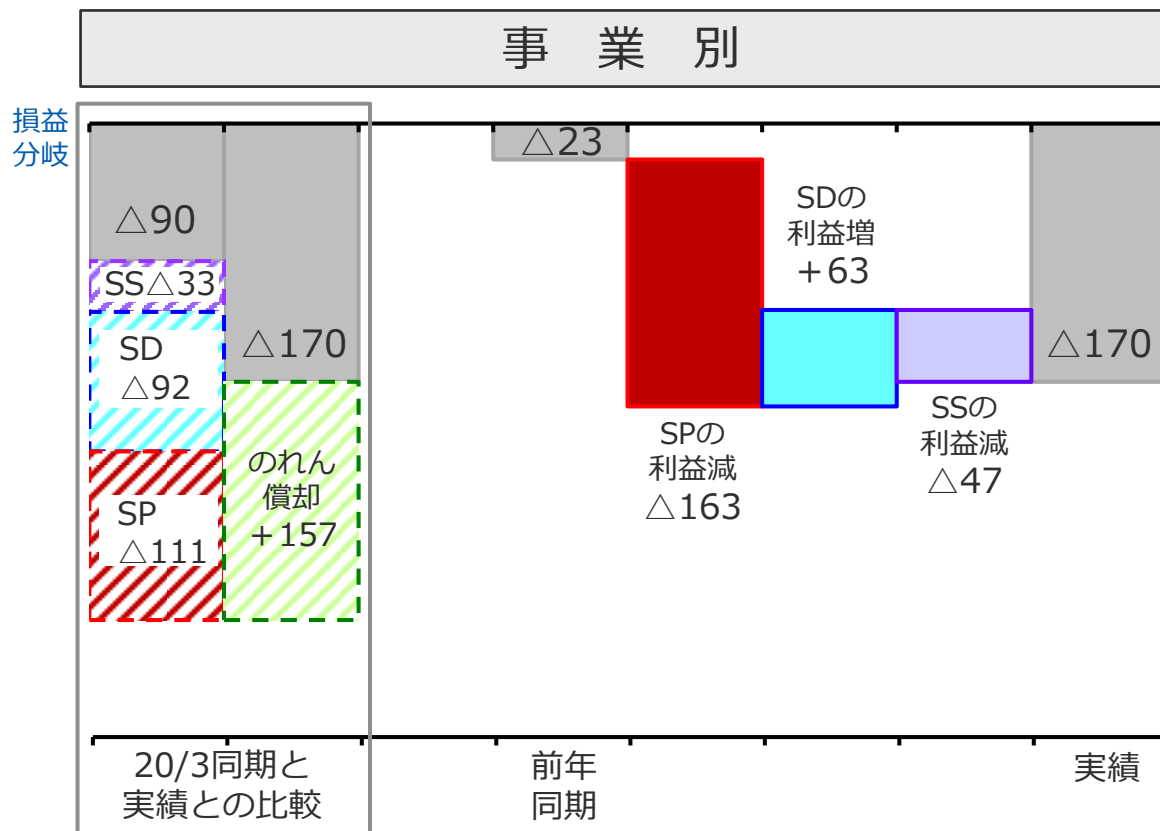


■売上高：22/3期を下回り、コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期と同水準に

- SP事業：前年第2四半期においてセキュリティ関連製品の大口案件で売上を計上したこと、及びデータベース関連製品の既存顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたことにより減少
- SD事業：ソフトウェア開発・支援ツール関連売上、新規案件売上等の伸長により増加
- SS事業：サプライチェーンへの影響による受託開発案件の期ズレ、車載機器関連のロイヤルティの縮小により減少

前年同期比：営業利益

(単位：百万円)



■売上高同様、22/3期を下回るが、21/3期比で改善

- ・ 前年第2四半期におけるセキュリティ関連製品の大ロイヤルティ案件売上により減少
- ・ データベース関連製品の既存顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたことにより減少
- ・ SS事業のサプライチェーンへの影響による売上減に伴い減少
- ・ SD事業の一部をSP事業へ移管したことに伴い、対象部門の人件費が各部門の損益に反映
- ・ 事業所移転・集約等により、その他費用が増加

連結損益計算書

(単位：百万円)

	23/3期 3Q	22/3期 3Q	増減	20/3期 3Q	増減
売上高	1,225	1,366	△141	1,573	△348
売上原価	711	712	△1	871	△160
売上総利益	514	654	△140	702	△188
販管費	684	677	7	793	△108
営業利益	△170	△23	△147	△90	△80
営業外損益	10	11	△0	4	6
経常利益	△160	△12	△147	△86	△73
特別損益	-	-	-	-	-
法人税等	4	13	△9	11	△7
四半期純利益※	△164	△27	△137	△98	△66

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)

	22/12月末	22/3月末	増減
現金・預金	537	705	△167
受取手形・売掛金・契約資産	368	652	△284
有価証券	1,000	1,000	-
棚卸資産	34	0	33
前払費用	53	43	9
その他流動資産	43	27	16
流動資産	2,036	2,428	△391
固定資産	590	546	44
資産合計	2,627	2,974	△347

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

(単位：百万円)

	22/12月末	22/3月末	増減
買掛金	78	153	△75
未払金	68	32	35
契約負債	70	97	△26
その他流動負債	51 ※	164	△112
流動負債	269	448	△179
固定負債	91	84	7
資本金	1,483	1,483	-
資本剰余金	1,453	1,453	-
利益剰余金	△791	△626	△164
その他純資産	120	131	△10
純資産	2,266	2,442	△175
負債・純資産合計	2,627	2,974	△347

※. 本社移転・集約に係る資産除去債務を含めて表示しています。(22/3月末 79百万円)

通期業績予想（連結）に対する進捗

(単位：百万円)

	通期 業績予想	第3四半期 実績	進捗率 (%)
売上高	2,152	1,225	57.0
営業利益	5	△170	—
経常利益	5	△160	—
純利益	3	△164	—

セグメント及び 製品分野別動向と取り組み

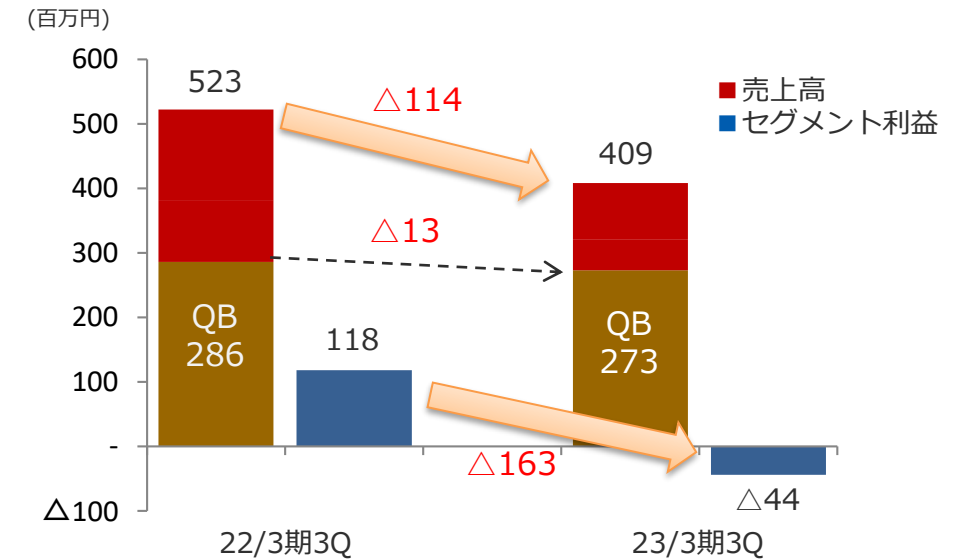
ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連

■当四半期概況

- ・国内外の車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- ・カーナビ等の車載向け機器を中心に複数社との間で大・中規模の開発案件が継続中

■取組方向性

- ・車載情報端末以外の車載機器向けの拡販
- ・海外市場拡販及び必要なプラットフォーム対応の推進
- ・高速起動技術による電子機器の待機電力ゼロへの応用とカーボン・ニュートラル実現手段としての訴求による拡販



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上・利益です。



ソフトウェアプロダクト事業 コネクティビティ、セキュリティ & OS関連

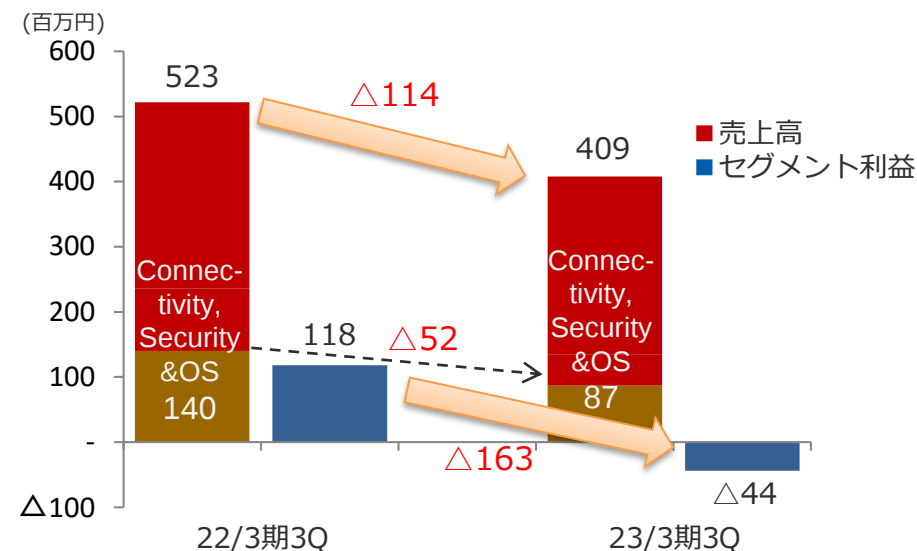


■当四半期概況

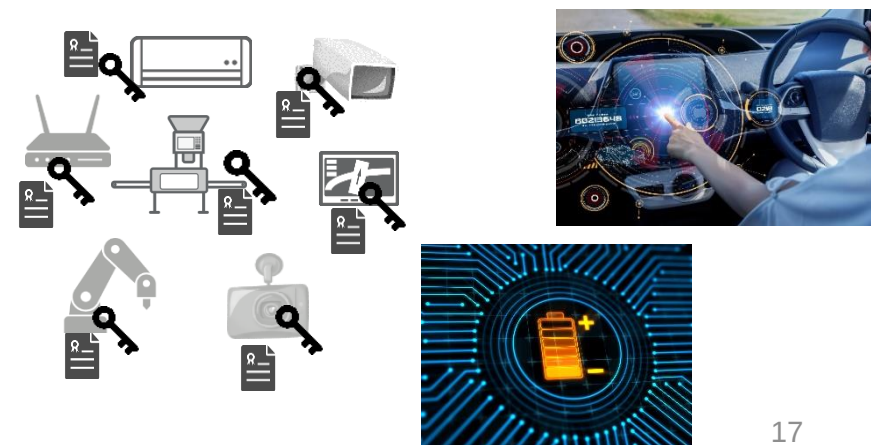
- コネクティビティ及びセキュリティ製品において、HEMS関連の既存顧客からの契約時一時金売上、半導体メーカーからの受託開発売上を計上
- リアルタイムOS関連製品において、産業機器および医療機器の新規顧客からの契約時一時金売上を計上

■取組方向性

- IoT機器の開発期間短縮を実現するソフトウェアパッケージ「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」の拡販を推進
- リアルタイムOSの優位性である省電力を達成することによるカーボンニュートラル社会の実現を訴求
- IoT機器のセキュリティ脆弱性への懸念の高まりに伴うセキュリティ製品の価値訴求と拡販
- 自動運転の普及に伴うキャビン・エンターテインメントにおけるプレミアムコンテンツ再生のために必要なセキュリティ製品の開発・販促強化
- 次世代インターネット通信及びセキュリティ規格の普及を見据えた研究開発



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ、セキュリティ&OS関連のみの売上・利益です。



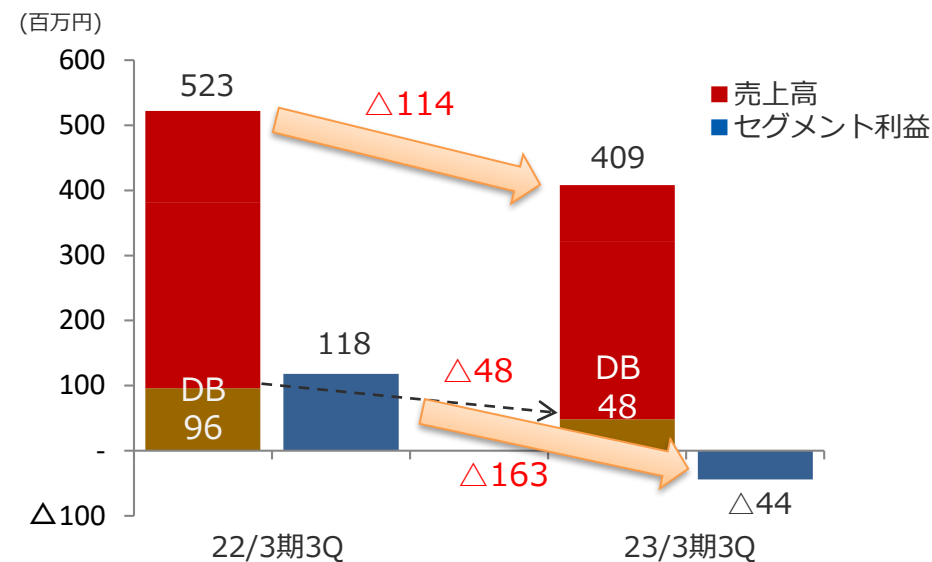
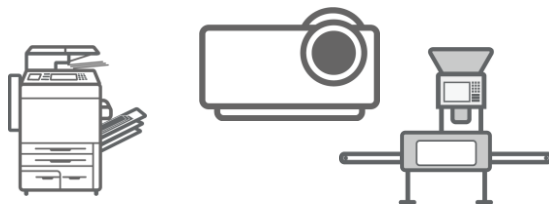
ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連

■当四半期概況

- 産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■取組方向性

- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器等に向けた拡販



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上・利益です。

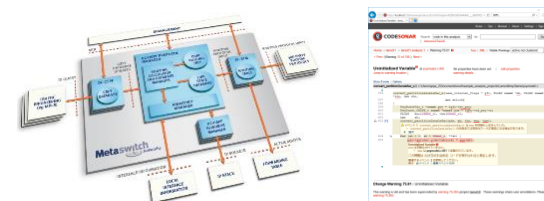
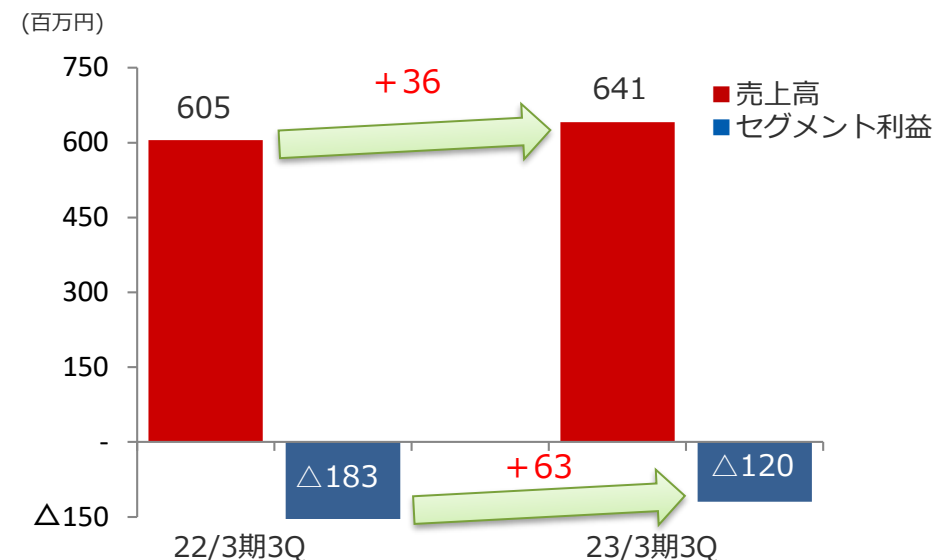
ソフトウェアディストリビューション事業

■当四半期概況

- BIOS製品「InsydeH2O[®]*₁」、ワイヤレス製品「Blue SDK*₂」、ソフトウェア品質向上支援ツール製品「CodeSonar*₃」、AIソリューション製品「CoDriver*₄」等のライセンス、ロイヤルティ及び契約時一時金売上を計上
- サイバーセキュリティ対策製品「beSTORM X*₅」による新規・既存顧客からの売上を計上

■取組方向性

- サイバーセキュリティ対策の需要に対応した、検証ツールとサービスの提供及び対応アプリケーションの拡充
- 大規模化するソフトウェア開発の自動化、効率化と高品質化を実現するツール・セキュリティ製品の獲得・販売
- 高付加価値のコンサルティング・サービス及びサポートの提供による収益力の強化
- EVの普及に伴う部品の電子化加速を睨んだ製品の獲得・販売を強化



*1 InsydeH2O[®]: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*2 Blue SDK: Bluetoothプロトコルスタック

*3 CodeSonar: ソフトウェアの不具合を検出する静的コード解析ツール

*4 CoDriver: ドライバモニタリングシステム

*5 beSTORM X: IoTセキュリティ検証ツール&サービス

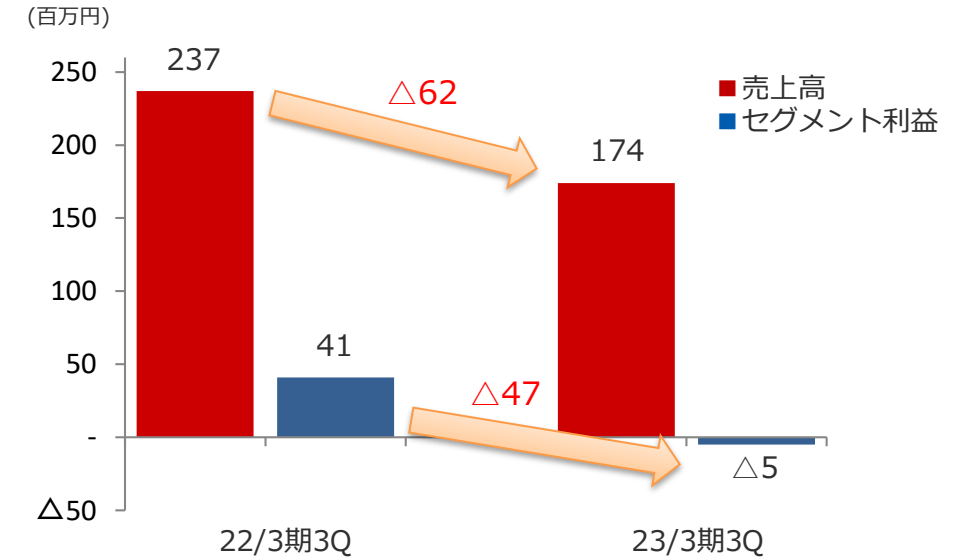
ソフトウェアサービス事業

■当四半期概況

- ・ 既存顧客からの各種受託開発売上を計上
- ・ データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス使用料売上等を計上

■取組方向性

- ・ 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的確保と、協業提案による新たな取り組み
- ・ 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サダマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウヨユミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

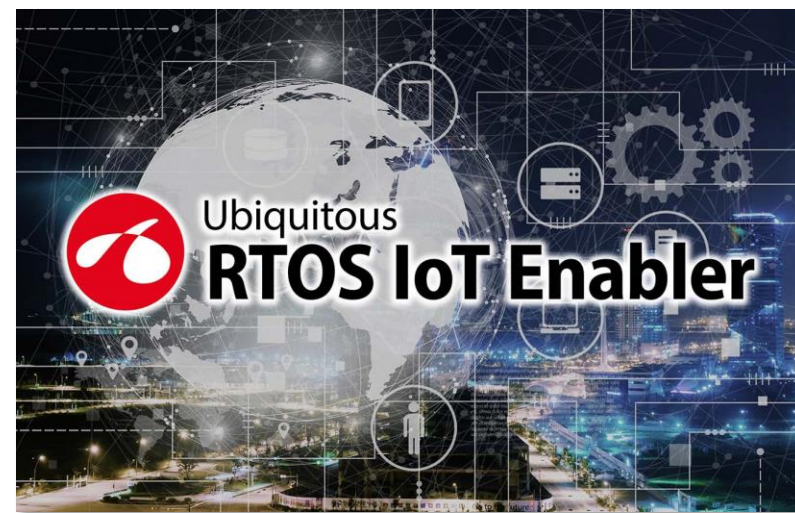
トピックス

ルネサス社のRAファミリMCUに対応した、短期間でセキュアかつスマートなIoT機器を開発するためのオールインワンソフトウェアを提供開始（11/16）

RAファミリMCU対応「Ubiquitous RTOS IoT Enabler for EMS」

■高性能・低消費電力MCUのRAファミリとUbiquitous RTOS IoT Enabler for EMSにより短期間でスマートな機器設計を実現

- 複雑なIoT製品の開発期間を約50%削減し、高品質・高性能製品のタイムリーな市場投入を実現するオールインワンソフトウェアパッケージ「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」
- ルネサス社製MCU RA6M4評価キットEK-RA6M4で動作確認済SDKとして提供
- EMS機器で多く採用される規格に対応したUbiquitous ECHONET Liteを実装済み。



画像・映像の匿名加工ソリューション 「brighter Redact」を11月18日に提供開始（11/18）

プライバシーを保護、匿名加工後もAIで画像処理が可能

■画像・映像データのプライバシー保護と利用を両立

- 元の画像・映像データの情報を保持しながら個人情報を保護
- 画像や映像データからオブジェクト（顔やナンバープレートなど）を自動検知して加工処理
- 匿名加工された画像・映像のリバースエンジニアリングを防止するランダム機能搭載
- プライバシー準拠IT製品として、
2022年にEuroPriSe（個人情報保護シール）認証済み

	元画像	従来のモザイク加工	Precision Blur 高精度匿名加工	DNAT 次世代匿名加工
				
AI解析	○ 人と検知	✕ 検知不可能	○ 人と検知	○ 人と検知
AI判定の例				
年齢	○ 30～35	✕ 不明	✕ 不明	○ 30～35
性別	○ 女性	✕ 不明	✕ 不明	○ 女性
マスク/サングラス	○ 着用なし	✕ 不明	✕ 着用なし	○ 着用なし
プライバシー	✕ 保護不可能	○ 保護	○ 保護	○ 保護

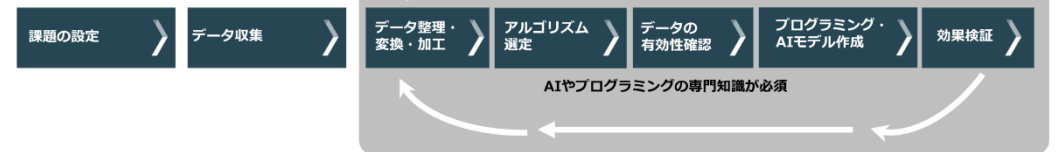
Profet AI社と販売代理店契約を締結、製造業DX向け機械学習ツール「Profet AI AutoMLプラットフォーム」を11月24日より提供開始（11/24）

DX化を目指す製造業が抱える課題を機械学習を活用して解決

■プログラミングやAIの専門知識は不要、操作方法や機能概要は1日で習得可能

- 実用的なテンプレートに従うだけで、自動的に機械学習モデルを構築
- データ収集後の機械学習モデル作成が1週間で完了
- オンプレミス環境で使用可能
- 多言語対応しているなので、海外拠点とともにDX化に取り組むことが可能

従来のAI導入の流れ



Profet AI導入の流れ



次世代Bluetooth® Audio「LE Audio」に対応した Bluetoothプロトコルスタック「Blue SDK 7.x」を提供開始（12/20）

同じ空間にいる人々と音声を共有、
劇場、店舗、駅・空港などで新たなユーザー体験

■ 「聞きたい人に届く」

Bluetoothでこれまでにないユースケースを実現するLE Audio

- 高音質・低遅延の新しいBluetooth音声規格「LE Audio」に対応
- LE Audio対応受信デバイスを持つユーザーは、特定の空間にブロードキャストされる音声を自分で選択して受信可能
- 劇場や店舗での商業利用、駅・空港などでのアナウンスなどに活用されることが期待



GSILがCarSim、AIC Compactと連携、ドライビングシミュレーターでAIモデルを使用した仮想ECUを検証可能に（2/7）

手戻りが少ない開発初期段階での検証を実現し、
実車でのテスト工数を大幅に削減

■開発期間の短縮やコスト削減に大きく貢献

- 次の3製品が連携し、AIモデルを使用したECUのアプリケーション検証をドライビングシミュレーター上で実行
 - 車載ECUソフトウェア開発向けシミュレーションツール「GSIL」
（ユビキタスAI、株式会社エー・アンド・デイ）
 - 車両運動シミュレーション「CarSim」
 - 圧縮AIソリューション「AIC Compact」



<連携イメージ>

HEXAGON Update - 取組状況



- 賛同企業・団体：**33**（2023/2/14現在、HEXAGON発表2022/6/22, 7ヶ月、一部連携団体含む）
- ベンチャーキャピタル、スタートアップ支援企業からのご紹介によるスタートアップとの販売提携・事業連携が進行中
- 将来的な賛同・連携を視野に入れた学術機関との連携協議を実施中
- スタートアップの製品・サービス販売を10月より開始（発表前実施済みを除く）

33

賛同連携



製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ 新たに5つの企業・団体が賛同（10/14）

HEXAGONの賛同企業・団体は計21企業・団体に

■新たな5つの賛同企業・団体

- ・アルサーガパートナーズ株式会社
- ・株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
- ・公益財団法人北九州産業学術推進機構
- ・福岡県ベンチャービジネス支援協議会
- ・三井住友信託銀行株式会社



アルサーガパートナーズと国内スタートアップ企業支援・連携 について合意（10/25）

「HEXAGON」を活用して国内スタートアップ企業の製品・サービスを提供

■スタートアップ・ベンチャー企業との関係強化

- 多くのコンサルティング実績と国内スタートアップ・ベンチャー企業の支援実績を持つアルサーガパートナーズ社との連携
- HEXAGONを通じて、アルサーガパートナーズが支援する国内スタートアップ・ベンチャー企業の先端テクノロジーを使った製品やサービスを提供
- これまでとは異なる新しい形のパートナーシップやビジネスの構築も模索



Headline Asia・IVSと製造業向けビジネスに取り組む スタートアップの支援で連携（10/27）

「HEXAGON」を通じた販売機会の提供でスタートアップの成長を加速

■Headline Asiaと経営者限定カンファレンス「IVS」を 運営するIVS社との連携がスタート

- シードステージの有望企業やスタートアップの登竜門ピッチイベント“IVS LAUNCHPAD”参加企業との接触機会が増えることで、これまで以上多種多様な製造業向けの最先端テクノロジーを活用した製品やサービスを顧客企業へ提供
- スタートアップとの共同開発などにも積極的に取り組む



製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」 新たに賛同企業 1 社のサービスの取り扱いを開始（10/31）

パラレルワールド社「ちご塾」「マインドセットセミナー」

■管理職・リーダー向け「ちご塾」、 経営幹部・管理職向け「マインドセットセミナー」

- ちご塾
セミナー・コーチングをセットにした管理職・リーダー育成のための1年間のプログラム。「良い話を聞いた」という段階に留まらずに、着実に継続的な成長を実現
- マインドセットセミナー
社員のマインドセットを「外向き思考」に変え、組織のパフォーマンスを向上させるためのセミナープログラム

・管理職・リーダー向け
「ちご塾」
管理職・リーダー育成のためのセミナー・コーチング

・経営幹部・管理職向け
「マインドセットセミナー」
社員の「内向き思考」を「外向き思考」へ



製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ 新たに3つの企業・団体が賛同（10/31）

HEXAGONの賛同企業・団体は計24企業・団体に

■新たな3つの賛同企業・団体

- Headline Asia・IVS株式会社
- 株式会社pluszero
- 株式会社ハートビーツ



Headline



+ zero

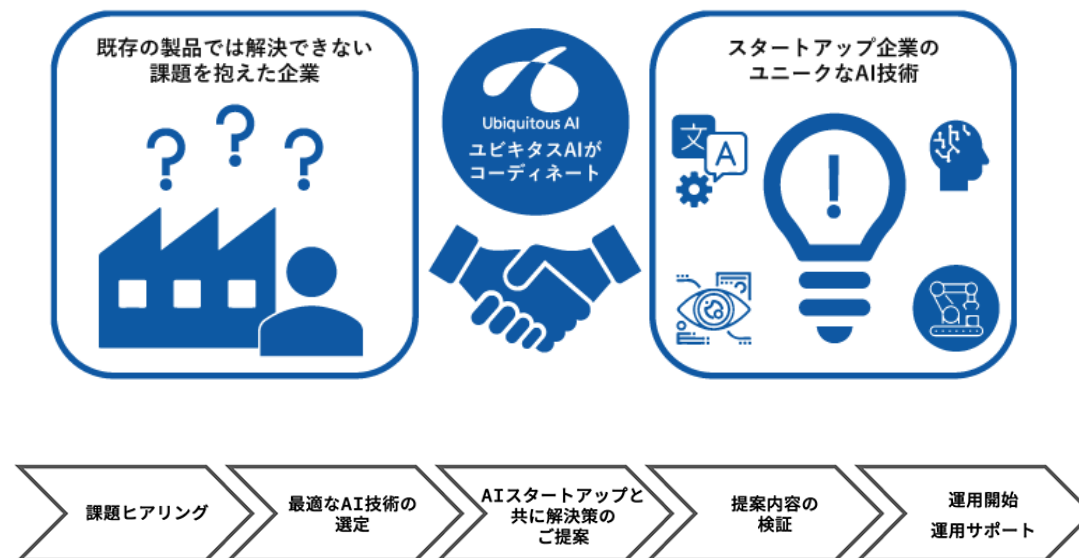


製造業における個別課題をAIで解決する AIプロフェッショナルサービスの提供を開始（11/30）

スタートアップ企業の先進AIソリューションを利用して
一貫して最適なAI開発をサポート

■「株式会社AIBOD」「株式会社pluszero」と共同で提供

- 汎用用途向けにパッケージ化されたAI製品は、製造業が抱える課題に対応するためのカスタマイズや追加開発などの個別対応が必要となるケースが多い
- 製造業の抱える課題とスタートアップ企業のユニークなAI技術をユビキタスAIがコーディネート
- AIBODとプラスゼロが得意とする技術分野と製造業のお客様が抱える課題をユビキタスAIがマッチングすることで、スピーディーなAI開発の課題解決を実現



<ご提案の流れ>

製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」 新たに賛同企業3社のサービスの取り扱いを開始（11/30）

「M&Aプラットフォーム」「AIの活用方法の提案＆開発」
「電源開発、パワーエレクトロニクス開発ソリューション・サービス」

■M&Aクラウド社

「買い手の顔が見える求人広告型M&Aプラットフォーム」

- 買い手企業がM&A戦略を記事として公開し、売り手企業はそこから自社の成長戦略に合った事業売却先や資金調達先を探すことができるマッチングプラットフォーム

■pluszero社

「お客様の課題・目的に即した個別のAIモデルの開発と提供」

- 買い手企業がM&A戦略を記事として公開し、売り手企業はそこから自社の成長戦略に合った事業売却先や資金調達先を探すことができるマッチングプラットフォーム

■スマートエナジー研究所社

「電源開発、パワーエレクトロニクス開発を加速するソリューション・サービス」

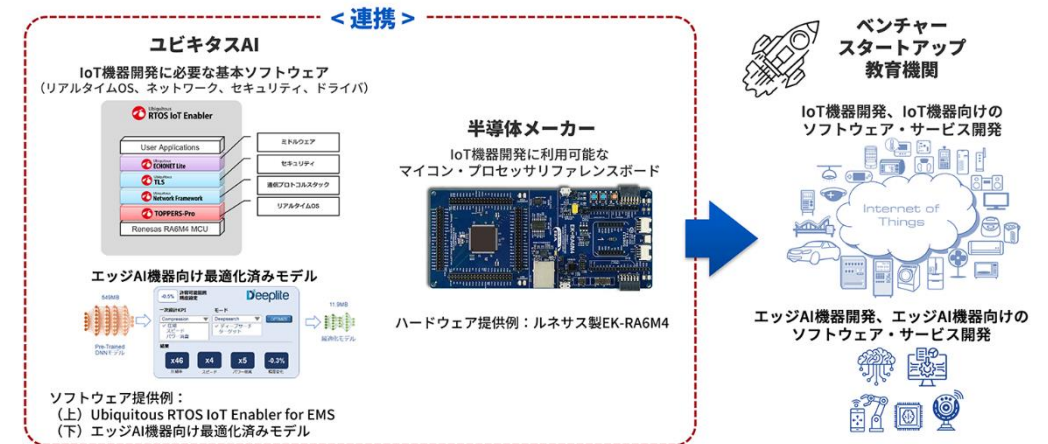
- 全自動、高速損失解析機能および高速安定シミュレーションを可能にする電源パワエレ向け高速回路シミュレーターおよび実績に基づく設計開発・コンサルティング・モデリングサービス

「HEXAGON」にルネサスが参画し、ベンチャー、スタートアップや教育機関の活動を支援（1/10）

商用品質のソフトウェアとハードウェアの包括的な支援でイノベーション創出に貢献

■最初の取り組み成果として「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」とルネサスの「MCU」や「MPU」を組み合わせた開発キットを提供

- 商用レベルの高品質&高性能のソフトウェアおよびハードウェアを包括的に提供
- ベンチャー、スタートアップ、教育機関の研究開発、実証実験（PoC）や演習プログラム用などの幅広い層でこの開発キットを始めとするソリューションが活用され、日本のものづくりを支援できることに期待



＜ソリューション提供イメージ＞

AI学習・AIサイズ圧縮・運用サイクルの自動化を実現する AIBOD社のMLOpsツール「AIC Compact」 (1/17)

ハイスペックPC不要、
特別な専門知識を持たない現場担当者でもAI活用が可能に

■コンパクト化した先端AIをエッジや組み込みで活用

- ・現場でAIを使用する上で必要な「AI学習」「AIサイズ圧縮」「運用サイクルの自動化」を行うMLOpsツール
- ・現場での学習データをフィードバックして再学習するフローを自動化。AIの専門家や技術者ではない現場担当者でもAIの管理と運用が可能
- ・AIC Compactを使って圧縮したAIモデルは、低スペックのエッジデバイス上で実装・推論ができるので低コストでエッジAIの開発、運用が可能



<AIC Compact利用イメージ>

Appendix

2022年3月期 第3四半期 開示一覧

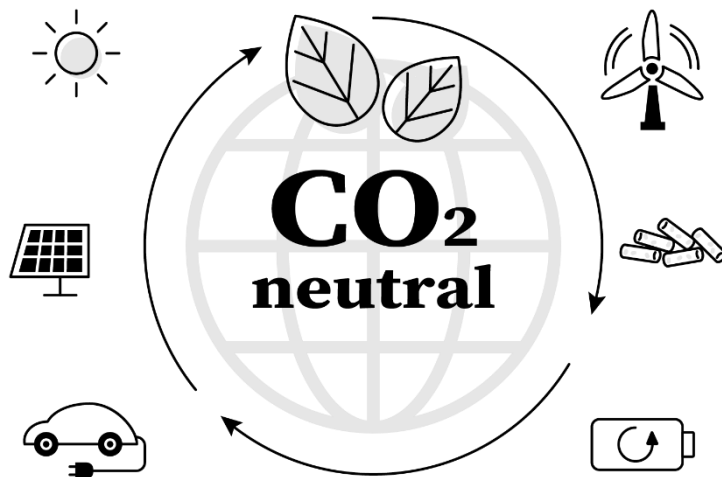
発表日		プレスリリース
第3四半期	10月14日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ新たに5つの企業・団体が賛同 「HEXAGON」への賛同企業・団体は計21企業・団体に
	10月25日	■ アルサーガパートナーズと国内スタートアップ企業支援・連携について合意 「HEXAGON」を活用して国内スタートアップ企業の製品・サービスを提供
	10月27日	■ Headline Asia・IVSと製造業向けビジネスに取り組むスタートアップの支援で連携 「HEXAGON」を通じた販売機会の提供でスタートアップの成長を加速
	10月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ新たに3つの企業・団体が賛同 「HEXAGON」への賛同企業・団体は計24企業・団体に
	10月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」新たに賛同企業1社のサービスの取り扱いを開始 パラレルワールド社「ちご塾」「マインドセットセミナー」
	11月16日	■ ルネサス社のRAファミリMCUに対応した、短期間でセキュアかつスマートなIoT機器を開発するためのオールインワンソフト パッケージを提供開始
	11月18日	■ 画像・映像の匿名加工ソリューション「brighter Redact」を11月18日に提供開始 プライバシーを保護、匿名加工後もAIで画像処理が可能
	11月24日	■ Profet AI社と販売代理店契約を締結、製造業DX向け機械学習ツール「Profet AI AutoMLプラットフォーム」を提供開始 DX化を目指す製造業が抱える課題を機械学習を活用して解決
	11月30日	■ 製造業における個別課題をAIで解決するAIプロフェッショナルサービスの提供を開始 スタートアップ企業の先進AIソリューションを利用して一貫して最適なAI開発をサポート
	11月30日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」新たに賛同企業3社のサービスの取り扱いを開始 「M&Aプラットフォーム」「AIの活用方法の提案&開発」「電源開発、パワーエレクトロニクス開発ソリューション・サービス」
	12月20日	■ 次世代Bluetooth® Audio「LE Audio」に対応したBluetoothプロトコルスタック「Blue SDK 7.x」を提供開始 同じ空間にいる人々と音声を共有、劇場、店舗、駅・空港などで新たなユーザー体験
第4四半期 (参考)	12月22日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ新たに3つの企業・団体が賛同 「HEXAGON」への賛同企業・団体は計27企業・団体に
	1月10日	■ 「HEXAGON」にルネサスが参画し、ベンチャー、スタートアップや教育機関の活動を支援 商用品質のソフトウェアとハードウェアの包括的な支援でイノベーション創出に貢献
	1月17日	■ AI学習・AIサイズ圧縮・運用サイクルの自動化を実現するAIBOD社のMLOpsツール「AIC Compact」を提供開始 ハイスpekPC不要、特別な専門知識を持たない現場担当者でもAI活用が可能に
	1月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ新たに4つの企業・団体が賛同 「HEXAGON」への賛同企業・団体は計31企業・団体に
	1月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」新たに賛同企業3社のサービスの取り扱いを開始 企業の「らしさ」を言語化・見える化する「ブランディングとアウドドア研修」(エンカレッジ社)
	2月7日	■ GSILがCarSim、AIC Compactと連携、ドライビングシミュレーターでAIモデルを使用した仮想ECUを検証可能に 手戻りが少ない開発初期段階での検証を実現し、実車でのテスト工数を大幅に削減

注力テーマ：カーボンニュートラルへの貢献

2030年には300～400億台が普及していると言われるIoT機器において、当社の提供する技術・商品が1台あたりの電力消費を抑えることによって膨大な電力量の削減につながりカーボンニュートラル社会の実現に貢献



起動時間を短縮するために機器の電源を完全に切ることが出来なかった問題を、高速起動ソリューション QuickBootによる起動時間短縮によって待機電力ゼロを実現。



組み込みLinuxベースで設計されたIoT機器をリアルタイムOSベースのRTOS IoT Enablerに置き換えることによって省リソースで動作する省電力のシステムを実現。



肥大化したAIのモデルを最適化することでCPUやGPUの稼働率低減に寄与。対象によってはGPUが不要となり、一層の電力使用量の削減を実現。

AI技術で通信データを圧縮し、通信時に発生する電力量を抑制。



注力テーマ：進化する自動車開発に必要な製品ラインアップの充実

CASE (Connected、Autonomous、Shared & Services、Electric) への進化を幅広いソフトウェアソリューションでサポート

インフォテインメント/情報系ソフトウェア開発

高速起動

Ubiquitous QuickBoot

コネクティビティ

Ubiquitous Wi-Fi SDK

Bluetooth SDK (BlueSDK)

USBプロトコルスタック (HE-USB)

ハイパーバイザー

COQOS Hypervisor SDK / SafeG

セキュリティ/暗号ライブラリ

Ubiquitous Securus

Ubiquitous DTCP / HDCP

Ubiquitous TPM Security

暗号ライブラリ (HE-CRYPTO)

ドライバーモニタリング

CoDriver

ストレージ

Ubiquitous DeviceSQL

電断対応ファイルシステム

(Reliance Nitro/FlashFX)

SD/SDIOドライバー

スマートフォンミラーリング

Ubiquitous Miracast SDK

Mirroring SDK

社内ボイス環境構築

車載専用ノイズ/エコーキャンセラー
(BdSound S2C-A)

インフォテインメント

Gracenote CDDDBポーティングサービス

YOMIデータコンテンツライセンス

OTAアップデート

OMA-DM、LWM2M クライアント

ECU/制御系ソフトウェア開発

車載ネットワーク/ECU向け

ISO26262 ASIL-D対応車載統合ECU向け

ハイパーバイザー (COQOS Micro SDK)

暗号ライブラリ (HE-CRYPTO)

TLS (Ubiquitous TLS、HE-TLS)

IPSec (HE-IPSec)

品質向上支援/開発支援ツール

ランタイムエラー静的検出ツール (CodeSonar)

ソフトウェアコンポジション解析 (CodeSentry)

ECUタイミング検証 (chronSUITE)

カバレッジ測定 (Testwell CTC++)

ECU開発シミュレーションツール (GSIL)

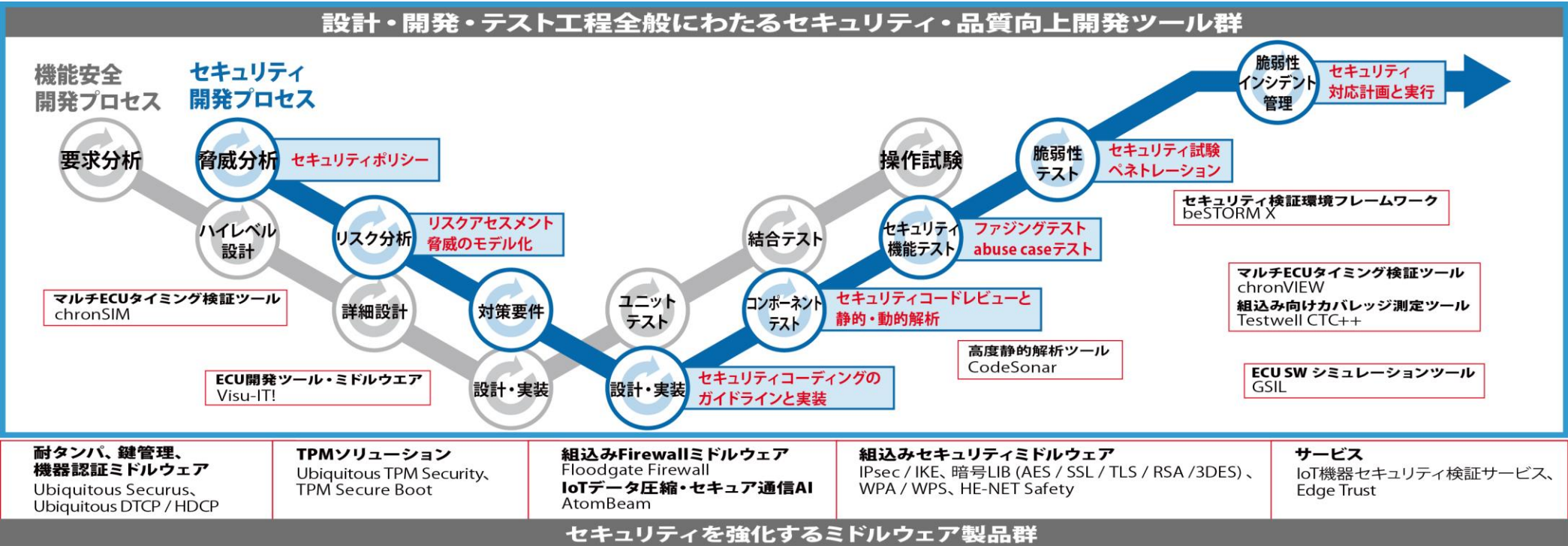
ECU変数管理システム、ミドルウェア (Visu-IT!)

セキュリティ脆弱性検証フレームワーク (beSTORM X)

注力テーマ：IoTセキュリティ需要への対応

サイバーセキュリティ対策のために必要な、製品開発プロセス全体をカバーする様々なセキュリティソリューションが現在と将来の課題を解決

- コード解析・品質向上ツール
- 脆弱性検証ツール・サービス
- ECU開発シミュレーションツール
- 暗号化ライブラリ
- デバイスライフサイクルマネジメントサービス



注力取り組み：AI関連製品

エッジAI関連製品ラインアップの強化

brighterAI

	元画像	従来のセグメンテーション	高精度画像加工	次世代画像加工
AI検出	人1検出	検出不可	人1検出	人1検出
AI判定の質	半面	30~50	半面	30~50
性別	女性	半面	女性	女性
マスク装着状況	検出なし	半面	検出なし	検出なし
プライバシー	検出不可	検出	検出	検出

AI画像処理に利用可能な映像匿名加工

PROFET AI

Profet AI導入の流れ



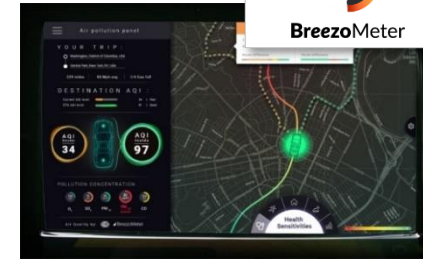
AIモデル構築・調整を自動で最適化

JUNGO



ディープラーニングで事故防止

BreezoMeter



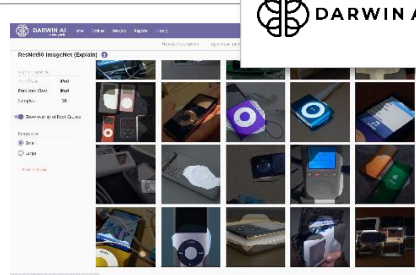
AIによる大気質解析

Deeplite



ディープラーニングモデル最適化

DARWIN AI



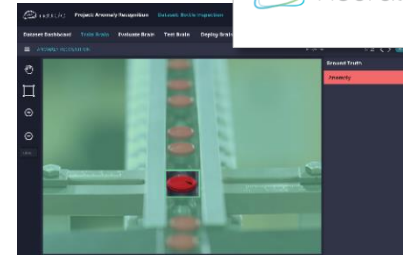
AIでディープラーニング開発を促進

EKXONO



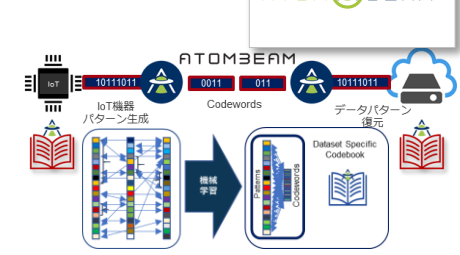
自己学習が可能なエッジAI

neurala



AIによる外観検査プロセス自動化

ATOM3BEAM



AI特許技術でデータ伝送量削減

幅広い分野に向けて、用途に応じた最適な商材を提供

注力取り組み：AI関連

海外パートナー製品に加え、AIスタートアップ・ベンチャーとの連携により取り組み強化を推進中

海外パートナーの充実した組込み向けAIソリューション

映像匿名化 タッチレスUI 自動運転・ADAS
DX向け機械学習 データ伝送量削減
大気質解析 ディープラーニング開発 外観検査



国内AIスタートアップ・ベンチャーとの連携強化

Machine Vision AIプロフェッショナルサービス
ML Ops DXデバイス 音声認識
AI/DX人材育成・経支援営 レコメンデーション



海外の充実した製品群に加え、国内スタートアップ・ベンチャーとの連携によりプロフェッショナルサービスも含めて顧客支援体制を強化



Ubiquitous AI